

紀南養護専攻科を考える会

事業報告・計画

「障がい者にも進路選択の拡大を！」とのスローガンで、「高等部卒業後 20 歳までの教育の延長」を訴え、設立した我々「紀南養護専攻科を考える会」は、「県立専攻科設立」を目標に研究してまいりましたが、県の財政や社会環境などを考えると「長くて遠い目標」であることがわかりました。そこで、教育施策から福祉施策に目を転じ、模索してきた結果として、「ふたば福祉会」が運営する「たなかの杜」の中に自立訓練事業「学ぶ作業所 フォレスクール」が、念願叶って昨年 4 月に開設されました。2 年目に入所した 7 名を含め 15 名が、順調にじっくり楽しくいきいきと、学び・活動しています。当会としては、フォレ生の保護者を中心として組織された「フォレスクール支援会」を通じて、課外活動や特別プログラム等の運営を支援しています。また、このフォレ方式が全国的に有名になり、「我々の地域にもほしい」と考える保護者達や、教授・教師・福祉関係者など、県外から多数の見学者や講演依頼が来ています。当会としては、積極的にこの情報を発信する運動を、展開します。全国に多くのフォレ方式が立ち上がれば、多くの障がい青年が充実した幸せな青年期を過ごせますし、安定した福祉施策につながると思います。ただ当会の目標はあくまで「教育施策による専攻科」ですので、これが実績となり、地域の皆さんや県当局に「障がい者の青年期教育の重要性・必要性」を、認めて頂ける様な活動も進めたいと思います。

平成 20 年

- 9.10 第 3 回研究集会開催「障がい者の青年期教育の意義」講師・小畑耕作先生（上富田文化会館）
- 9.14 和歌山県障害児教育研究会（和歌山県民文館）分科会にて発表
- 10.1 田辺市社会福祉協議会より「平成 20 年度地域福祉活動推進事業助成金」交付（研究集会）
- 10.11 役員会
- 12.6~7 第 5 回全国専攻科研究集会（鳥取市）分科会にて発表 フォレ生は仲間の分科会参加

平成 21 年

- 1.28 役員会（鳥取大学 渡部昭男教授ゲスト参加）
- 1・29 日本興亜保険グループより上記「鳥取ツアー」へ助成金交付
- 1・29 日本興亜よりフォレスクール支援会へ助成金贈呈式（たなかの杜）
- 2.17 たちばな支援学校保護者会と懇談（湯浅町）
- 6.28・29 倉敷養護学校 PTA（岡山県）講演
- 7.9 和歌山専攻科を考える会 懇談（たなかの杜）
- 7・17 (株)釣太郎様より寄付金交付
- 7・22 小畑耕作先生と懇談（たなかの杜）
- 8.11 倉敷養護学校 PTA 懇談（たなかの杜）
- 8.27 神戸特別支援学校 PTA 講演（兵庫県）

決算及び監査報告書

紀南養護専攻科を考える会 (第 3 期・平成 20 年 9 月 1 日～平成 21 年 8 月 31 日)

収入の部		支出の部	
前年度より繰越金	153,735	第 2 回総会費	81,418
今年度寄付金・助成金	297,850	フォレ支援会へ贈与	100,000
		研修会費	2,000
		通信郵送費	14,270
		雑費	5,206
合計	451,585	合計	202,894

残額 248,691 円(次年度へ繰越)

主な寄付金 田辺社協 地域福祉活動推進事業 5 万円 日本興亜保険グループ 10 万円
(株)釣太郎様 11 万円 はまゆう育友会（総会会場費）15850 円 他

その他多くの皆様、ありがとうございました。

会計監査報告

諸帳簿等を監査した結果、適正であったので報告します。

平成 21 年 10 月 27 日

監査 林 佐代子